

多々良川で また釣針・釣り糸粗大ゴミ被害！ クロツラヘラサギ、ヘラサギ相次いで死亡

2009年11月26日午前、多々良川中州で、両脚に釣り針3本が刺さり仕掛けの糸が絡んで歩けず、餌がとれないクロツラヘラサギ成鳥を発見しました。やっと11月30日午後10時32分に保護でき、福岡市動物園で手厚い治療を受けていましたが、残念ながら12月8日午後死亡しました。

さらに、12月8日午前10時30分、両脚が折れて動けないヘラサギ幼鳥を中州で保護しましたが、福岡市動物園で翌9日に死亡しました。



保護直後のクロツラヘラサギ



両脚骨折のヘラサギ

多々良川では、今年1月にもクロツラヘラサギ幼鳥が、釣り糸が絡んで餌がとれずに衰弱し、人工島で保護しましたが、治療中に死亡しています。

私たちは、再び事故が起きないように、干潟の粗大ゴミ等の回収を行い、「釣りをされる方へ」と釣りゴミ放置をしないよう呼びかける看板を立て、

直接釣り人へも声をかけ、放置されたルアー・釣り糸などの回収に努めてきました。

しかし、事故がまた起きてしまいました。地域のみなさんのお力を借りて、クロツラヘラサギを守っていききたいと思います。

世界で約2000羽しかいない絶滅危惧種のクロツラヘラサギは、アジアの鳥として、韓国、北朝鮮、中国、台湾、ベトナム、ロシアなど各国でも保護活動が行われています。

多々良川でこれ以上被害を出さないよう、一緒にクロツラヘラサギを守っていきましょう。間近にクロツラヘラサギを見ることのできる多々良川は地域の宝です。誇りです。



守ろう！クロツラヘラサギ！！見守り隊募集中

* 多々良川から釣りゴミをなくそう。* 怪我している鳥を見たらご連絡を。

2009.12.10 ぶくおか湿地保全研究会 電話:090-2850-6859(服部)、090-8623-7521(木下)